

砂泥の中の生物

■砂泥の中に潜む生物

気温が低くなり、コメツキガニ等が干潟で活動する様子は見られなかった。小型のウミニナの仲間を、潟湖で多数確認した (Fig.1)。新しい世代の個体が十分成長しているのであろう。

巣穴の中や石の下に潜むコメツキガニ (Fig.2) を確認した。砂泥の中には貝類 (Fig.3) やゴカイの仲間が生息しており (Fig.4)、これらが干潟の様々な生物の餌となっているのであろう。今回の調査では、殻幅3cmほどのソトオリガイを採集した (Fig.5 6)。



(Fig.1 様々な大きさのウミニナの仲間)



(Fig.2 石の下のコメツキガニ)



(Fig.3 イソジジミ)



(Fig.4 ゴカイの仲間)



(Fig.5 ソトオリガイ)



(Fig.6 ソトオリガイの水管)

(佐藤 賢治)